



## 川から湖ができるのは、どんなときなの

### 川がせき止められたり、土地が落ちこんだりしてできる

火山の噴火や山くずれで、川がせき止められることがあります。このようなときには、大きな水たまりができて、湖になります。これを「せき止め湖」といいます。

川すじの土地が、大きく落ちこんだりするときがあります。そのくぼみに、水がたまって湖になります。これを「かんぼつ湖」といいます。

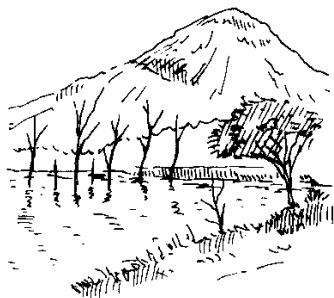
川が長い年月の間に、へビが曲がりくねって進むときのように、曲がって流れるようになったときに、大水などが起こって川すじが変わり、曲がった部分がとり残されて、湖になることがあります。これを「三日月湖」といいます。

### 大正池は「せき止め湖」、琵琶湖は「かんぼつ湖」

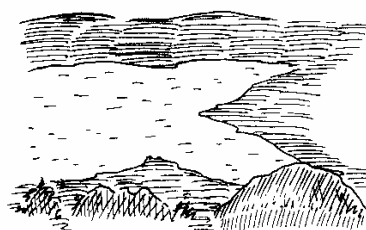
川がせき止められてできた「せき止め湖」には、上高地の大正池があります。川すじが落ちこんでできた「かんぼつ湖」には、琵琶湖があります。

また、川すじが変わり、曲がりくねった部分がとり残されてできたものには、石狩川流域の「三日月湖」があります。（監修・国司 真）

大正池



琵琶湖



三日月湖（石狩川流域）

